

## 大会を終えて

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会が、皆さまのご協力により無事終了することができましたことを心より感謝申し上げます。

今回の研究大会は「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」という大会スローガンの下に、「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」というテーマを掲げて開催されました。

このように大きな理想を求めて開催された神奈川大会でしたが、今回の研究大会に関するアンケートを通じて、当日の運営の状況、記念講演・シンポジウム・分科会等について皆様から寄せられた御意見や御感想を集計させていただき、それなりに意味のある大会であったのではないかと、実行委員会では感謝をもって受けとめさせていただきました。

今回の研究大会の中で発信された問題提起や、社会教育委員の取り組みを承りながら、生涯にわたる学びを通じた人間の幸せの実現や、よき地域社会の実現を目指して、社会教育委員がさまざまな条件の下にあってもその教育活動に邁進すること、人々の学びの環境をよりよいものとするために行政に働きかけていくことの重要性を改めて知らされた思いがいたします。

この報告書には、異なる背景を有するもの同士が共生できる社会、一人ひとりの所与の条件を踏まえてだれもが学び続けることができる社会、地域の教育力の再生、子ども・若者・成人・高齢者が世代を超えてつながり理解し合える社会の実現等、2日間にわたる研究大会の内容がまとめられています。これが、今後の社会教育委員としての活動のための参考資料として、皆様に用いていただくことがあれば素晴らしいことだと思います。

最後になりましたが、ここに多くの関係者の御努力、御支援によって神奈川大会が開催され、その中で示唆に富む意見や活動が発信され、本研究大会が社会教育委員のよき学びと交わりの機会となりましたことを心よりお礼を申し上げます、本報告書を皆さまのもとにお届けさせていただきます。

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会  
実行委員会委員長 小池 茂子

## 都道府県別参加者数

都県	全体会 参加者数	分科会参加者数					
		第1 分科会	第2 分科会	第3 分科会	第4 分科会	第5 分科会	計
茨城県	37	19	1	3	2	7	32
群馬県	56	10	20	9	0	2	41
埼玉県	49	4	3	5	8	3	23
千葉県	25	13	0	1	0	1	15
東京都	68	12	16	7	2	5	42
神奈川県	283	29	50	41	50	57	227
新潟県	11	4	2	1	0	3	10
山梨県	60	24	6	6	1	9	46
長野県	37	19	1	6	3	8	37
静岡県	40	7	6	5	5	16	39
栃木県	43	16	15	1	2	9	43
その他 (福島県・ 宮城県)	3	0	2	0	1	0	3
合計	712	157	122	85	74	120	558

※理事・登壇者・来賓・事務局・県社会教育主事除く（計 35 名）

※実行委員・大会協力員含む

※分科会発表者・随行者含む